

株式会社みらいファームやまと



1 現在の活動状況等

(1) 経営理念、目標

- 私たちは農と食を通じた夢の実現のためにたゆまぬ努力を続けます
- 私たちは明るく楽しく笑顔の絶えない職場づくりを目指します
- 私たちは歴史から学び、新しいことへ勇気をもって挑戦します
- 私たちは地域社会へ夢を還元し、社会使命を果たします

(2) 生産技術の特徴

○ぶどう栽培について

- 主要品種は、シャルドネ、ソービニヨンブラン、メルロー、マスカットベリーA等を栽培している。
- 品種に応じて最適な整枝剪定、土壌診断に基づいた適切な肥培管理、適期の病害虫防除の実践により、安定した収量を確保している。
- 農薬メーカーや醸造用ぶどう生産者との情報交換を頻繁に行い、最新の防除技術の導入を図っている。

○にんにく栽培について

- 品種は福地ホワイト六片で、購入したウイルスフリー苗と自家増殖苗を組み合わせて、コストを抑えながら栽培を行っている。
- より秀品率を高めるため、ほ場の排水対策、適期防除、緩効性肥料を利用した肥培管理等を行っている。

(3) 販売面の特徴

- 自社ぶどうは、すべてワイナリーで原料として使用し、ワインは、自社のレストランで、地域の食材を用いたグリル料理とともに提供している。
- インショップやオンラインショップでの販売、イベントをきっかけとした首都圏への販路拡大にも力を入れている。
- ワインを軸に、ワイナリーに関連した雑貨、スパイス等を販売している。
- 自社にんにくを使った商品開発を進めており、にん

にく味噌やガーリックオイル、ニンニクスパイス等を販売している。

- 自社にんにくは、「吉田ホワイト」のブランド名で、乾燥にんにくの販路を複数持っている。

(4) 経営組織の特徴

- 組織体制：6部門（農業生産部門、営業管理部、総務経理管理部門、製造管理部門、レストラン・ショップ・宿泊管理部門、料理部門）による部門管理。
- 統括責任者職員の配置：部門毎に専従者を常時雇用。
- 農福連携の取組：障がい者が農作業や箱組み立てなどの作業に従事。今後、取組拡大を計画している。

(5) 労務管理の特徴

- 週休2日制度、年末年始休暇制度を導入。
- 出勤時間に合わせて、1時間の休憩時間を確保。
- 自社レストランに社員割を導入。
- 農業大学の卒業生を2名採用し、ぶどうなどの農産物の生産部門の技術者として育成中。
- 農業高校出身の社員をレストラン部門で雇用。

(6) 経営管理の特徴

- 顧問税理士、社会保険労務士、弁護士がおり、顧問税理士から毎月、経営分析結果を基に経営管理について指導を受けている。
- 月に1度、部門担当者間で営業会議を行い、レストランや販売に関する検討を行っている。
- 醸造工程の機械化によって生産の効率化が図られている。
- 販路の拡大に向けて、県外のイベントにも積極的に参加している。

(7) その他、特筆すべき事項

【情報の発信、収集】

- 地域との連携によるイベントを定期的に開催。
- ワイン醸造に加え、地域食材を活かした料理とワインを楽しむレストランや宿泊施設の開設により、地域に多くの人を呼び込むことを可能としている。

経営のプロフィール

経営概要

- 醸造用ぶどう：作付面積 3.38ha、ワイナリー：496㎡
取引量：35t 瓶詰本数：29,000本
- にんにく：作付面積 1.3ha

主な施設・機械の保有

- ワイナリー（可動式破砕機、メンブランプレス、各種タンク、耐圧タンク、移動式小型冷却加温装置、充填機、コルカー、キャッパー、ワイン用樽 等）
- 加工用機器（簡易ドライアイス製造機、ラボ機器等）
- ほ場作業機（マニアスプレッダ、ウッドチップパー、自走式キャリー動噴、乗用草刈機、トラクターCT122、スピードスプレイヤー、にんにく定植機等）
- レストラン棟：366㎡ 宿泊棟：90㎡

構成員等

- 役員：2名
- 従業員：正社員 12名、臨時雇用 4名

法人設立年月日

平成27年 7月 3日

認定農業者認定年月日

令和 3年 7月 2日

資本金

3,000万円

販売額等

販売額：1億 3,100万円
収入算入交付金等：1,279万円（経営所得安定対策等）

役員名

代表取締役：早坂 了悦
取締役：早坂 美代子

過去の表彰

- 2021年「フェミニナリーズ世界ワインコンクール※」
トップオブザベスト 1 銘柄、金賞 2 銘柄 受賞
- 「サクラアワード」「デキャンタアワード」
毎年金賞または銀賞を受賞
- ※「フェミニナリーズ世界ワインコンクール」
フランスで TOP5 に入る世界的に知名度の高いコンクール

2 法人設立までの変遷

(1) 法人設立までの動機、きっかけ

- ・出身地である大和町の地域活性化を図りたいと考え、「食の安全・安心、美味しい」を通して大和町の魅力をアピールするため、地域の土地条件を活かした農業と6次化に取り組む法人の設立に至った。

(2) 法人化に至る経過等

- ・中山間地域である吉田地区の遊休化していた丘陵牧草地を活用して醸造用ぶどうの栽培を開始した。
- ・「福祉」と「農・食」の分野で新たな結びつきを構築し、ワイナリー（ぶどう畑）を核とした地域振興と産業化の促進や、障害者の就労等共生型農業の実現を図る。更に環境にやさしい循環型農業による、安全・安心で高付加価値を持った食材の生産を目指し、法人化による農業参加を行った。

(3) 法人化後の評価

- ・補助事業等の活用により、県内ワイナリーでは最大規模の3.5haで醸造用ぶどうの栽培が可能となった。
- ・自社製品の販売やイベントの開催を通して大和町に地域外からの人を呼び込み、町内施設の利用客が増える等、地域の商業活動が活発化した。
- ・地域の農地等1.5haを活用し、地域農業者と連携してにんにくの栽培・加工が可能となった。

3 今後、将来に向けてのビジョン等

(1) 将来ビジョンと経営戦略等

- ・大和町の地域活性化への取組を最優先に、宮城県内でのワインの販売強化及び県外への展開も広く進めていきたい。また、ワインを通じて宮城県産食材を県内外へ発信したい。
- ・地域外から若い人材を確保できるよう、食を通じた大和町のアピールを、地域ぐるみで行ってきたい。
- ・地元インターン生を受け入れ、若者が中山間地域に興味を持ってもらえるような研修やイベントを検討したい。

(2) 達成へ向けた課題及び取り組み状況

- ・体験プログラム（ワイン講座、イベント等）で、ワインと合わせた地域食材の楽しみ方や、ワインに関する知識を高める機会を提供し、それを通じてインバウンド等の交流人口の拡大と地域経済活性化につながる活動に取り組んでいる。

（調査 仙台農業改良普及センター）

略図



株式会社みらいファームやまと

〒981-0954 仙台市青葉区川平 4 丁目26-34(本店)
〒981-3625 大和町吉田字巨ノ原36-15(事業所)
TEL: 022-725-8370 FAX: 022-725-8371
Eメール: miraifarmyamato@gmail.com
ホームページ: <https://ryomi-wine.jo/>

視察受入条件 受入可

主な条件：
ワイナリーは、9月～11月中旬は不可。ほ場見学については年中可。